

経肛門的大腸内視鏡的狭窄部バルーン拡張術を受けられる

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

様へ

月日	月 日	月 日	月 日
経過	前日	当日(治療前)	当日(治療後)
目標	心身ともに安定した状態で治療が受けられる		出血徴候がない 穿孔兆候がない
検査	体重、身長測定		 朝 採血
食事	※朝食→消化のよい食事 (繊維の多い野菜、海藻、きのこ、脂肪分の多い乳製品などは避ける) ・昼食 検査食 ・夕より絶食(脱水予防の為、水、茶、スポーツドリンク可能)	 朝、昼、夕絶食 (脱水予防の為、終日水、茶、スポーツドリンク可能)	・朝食より五分粥開始 ・昼食 全粥食 昼食後退院です
	朝食は自宅 ※ 		 
処置・観察	・リストバンドを装着します(退院日まで) ・点滴の針を留置します		退院時にリストバンドを外します 点滴終了後抜去します 心電図モニターを装着します 取り外します
	 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります		
点滴・内服	 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください ・18時より下剤(10)を1時間で服用します ・21時下剤を4錠服用します □下剤お渡し済  昼に点滴を行います	 9時より 残りの下剤(10)を1時間で服用します  治療前より以下の点滴を行います ・持続点滴 ・抗菌薬(1日3本)	 退院処方があります
	 制限はありません  シャワー浴できます	 以下の治療準備を行います ・検査着に着替える ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し	 ベッド上安静です(トイレ歩行のみ可能)  制限はありません
説明	 医師より説明(外来又は入院時) ・治療計画について  看護師より説明 ・入院生活について ・治療後の注意点について  薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について	 看護師より説明 ・安静度 ・腹痛、吐き気、下血時はナースコール	 医師より説明 ・治療結果について ・退院後の治療計画、療養上の留意点について  看護師より説明 ・退院後の療養生活について(退院療養計画書をお渡しします)

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。